

安曇族の祭り

安曇郡美



発行所

穂高神社社務所

創刊 昭和52年2月

〒399-8303

長野県安曇野市穂高6079

電話 0263-82-2003

FAX 0263-82-8770

去る九月二十六、二十七日に例

祭「御船祭」が斎行されました。

来賓として、安曇族の本拠地、福岡市志賀島に鎮座する志賀海神社累代宮司阿曇家より高山和代様をはじめ、同県大川市に鎮座する風浪宮宮司阿曇史久様など多くの氏子崇敬者にご参列いただき、御布令「御船神事」では勇壮豪快な御船のぶつけ合いが行われました。

二十六日には志賀海神社の八乙女、八人と志賀島氏子御一行様が参拝され、志賀海神社に古くより伝わる門外不出の「八乙女の舞」を奉納されました。

八乙女とは志賀海神社に仕える巫女で、昔より八人の婦人達がその任を果たし、八軒の家から代々世襲制で伝統を守り受け継いでいます。

また、奉納ステージにも志賀島盆踊り保存会の方々が盆踊りを披露して頂きました。

○御船の場面

等々力町区の子供船

「明智光秀の最期の場面」

穂高町区の子供船

「大阪夏の陣の場面」

穂高区の子供船

「時計の始まりの場面」

両町区の大人船

「加藤清正、虎退治の場面」

穂高区の大人船

「心頭滅却すれば火もまた涼しの場面」



紅葉まつり

上高地が色鮮やかに染まりはじめる十月八日、日本アルプスの総鎮守、海陸交通の守護として崇敬を集める当社奥宮例祭が斎行されました。

本年は、土曜日という事もあり多くの参拝者の方々が来られ、明神池を一周する龍頭鷺首の二隻の船にカメラをむけていました。

例祭後に、日本アルプス遭難者慰霊祭が斎行され、全国各地よりお越しになり遺族の方々が花を手向け御霊をお慰めになりました。



○遺族の方が読まれた歌です

・七夕に願いを込めて祈りたる

その子は逝きて三十七年
家に臥しるて思いは深し

・我が胸に亡き子抱きて行きし

明神池までの唐松もみぢ
三十余年の歳月を経し

・若き日の笑顔の写真

眺めて過ごせし三十余年

信濃雅楽会

創立六十周年記念演奏会

信濃に響く雅の調べ

信濃雅楽会創立六十周年を記念して十一月五日(土)まつもと市民芸術館小ホールにて演奏会を行いました。

信濃雅楽会は、穂高神社雅楽会という名称で明治末期頃に氏子達の有志の下に作られました。昭和に入り先の大戦で一時的に中断しましたが、昭和二十四年穂高神社大遷宮祭を機に再び創立をしました。

以来、穂高神社をはじめ諸神社の祭典奉仕、学校や施設等での演奏会を行い普及に努めて参りました。現在の信濃雅楽会という名称は、創立半世紀を経て平成十三年に県各地での演奏活動にふさわしき事から会員の総意により改めました。

今年、創立六十年という大きな節目を迎え、今まで当会を支えて下さいました諸先輩方に感謝するとともに、穂高神社国幣小社列格七十年・穂高神社奥宮例祭日制定七十年という年にもあたり、これらをあわせてお祝いの演奏会でありました。当会の稽古は、年約四十回の日程で三月～十一月の毎週水曜日に行っており、雅楽や神



楽舞の技術向上に努めるとともに、県内神社関係者にも参画願ひ雅楽会の輪を広げて参りました。

今回、演奏会にむけて通常の稽古の他に特別練習として元宮内序式部職楽部首席楽長上明彦先生をはじめ他二名の先生を招聘し、限られた時間の中、非常に熱心にそして、懇切丁寧に教えて頂きました。先生方のご熱意に

応えるべく会員一丸となり一所懸命に練習に励みました。そして、前日の十一月四日にまつもと市民芸術館小ホールに舞台設営、リハーサルを行いました。

先生方には非常にお忙しい中、四日よりお越し下さり本番にむけて夜遅くまで、練習や舞台の設定など細かく打ち合わせを行いました。

いよいよ本番当日は、会員一様に緊張していたと思えます。また、天気も悪く、演奏会に多くの方が来て下さるだろうかと不安がありました。が、二百名を超える方々がご来場下さりました。

演奏会の曲目は、管絃「賀殿急」・神楽「豊栄舞」・舞楽「胡飲酒」・「納曾利」・「長慶子」の五曲を行いました。魅了したと思います。

今回の演奏会は次への足がかりとし、更に、会員一同雅楽の技術向上に邁進すると共に、神社祭祀への寄与に努めて参りたい次第であります。

新春祈願・交通安全祈禱大祭の御案内

今年も残すところあとわずかととなり、何かと気ぜわしい日々をお過ごしのことと存じます。今年各地で起こった未曾有の大災害が大勢の命と財産を奪い、悲しい出来事の多い年でありました。この諸災害に未だ不自由な日々を過ごされている方々には心よりお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。このような中でも、なでしこジャパンの世界優勝やドラマの影響で当地を訪れ、心癒されるなど明るい話題も聞かれた年でありました。

今日まで、大量の電力供給や情報・流通産業によって発展がなされてきましたが、流通を支えてきた礎には車などの乗り物の存在は欠かせないものです。そして交通が安全でありますことへの願いは昔も今も変わりありません。

徳高神社の交通安全祈願はお車を社殿前まで進めてお祓いし、御神徳をお授けする靈験あらたかなる御祈禱であります。明ける平成二十四年は、交通の守り神として信仰が高い徳高大神様の御加護を受けられ、被災地の復興と経済の発展に必要な車が安全でありますよう、御家庭・企業の更なる繁栄がもたらされる年でありますよう、謹んで新春祈願大祭の御案内を申し上げます。

一、期間 一月一日(八日)受付九時(十六時)

一、内容 交通安全、家内安全、事業繁栄、商売繁盛、厄除、八方除、試験合格、学業成就、病

普通祈禱 五、〇〇〇円 追加祈禱 三、〇〇〇円
特別祈禱 一〇、〇〇〇円 追加祈禱 七、〇〇〇円
交通安全祈禱
普通祈禱 一台につき 五、〇〇〇円
(二台目から三、〇〇〇円)

特別祈禱 一台につき 六、〇〇〇円
(二台目から三、〇〇〇円)

平成二十四年 一番祈禱のご案内

「ひとりひとりが受けられる成就の鈴懸い」

年明け午前0時の時報とともに、初春のよるこびを神様にお告げし、天下泰平をお祈りする歳旦祭にひき続いて、新年の一番祈禱を斎行致します。二年参り・初詣には様々な願いを胸に祈られる事と存じます。

そんな多くの願いを必ず叶えていただけますよう、新年の一番初めに一度しか行われない巫女舞を加えた大変貴重な御祈禱です。

御祈願内容のすべての願いを込めて御祈禱致します。

一、祈禱料 一〇、〇〇〇円

お申し込みは、電話・ファックス・メールにてご予約下さい。

当日申し込みの方は、31日午後11時より受付致します。ご予約済の方は午後11時45分に拝殿授与所までお越し下さい。尚、ご参列不可能な場合は御神札等郵送致します。

【八方塞り:はっぽうふさがり】

九星は人間の運勢や吉凶の判断に用いる九つの星のことで、九星年盤の中央に入る星を本命星といひます。本命星にあたる方が八方塞りの年で、周囲八方ふさがれ、八方どの方位方面に向かっても不吉な結果を生じ障害があり、手の打ちようのない不安定な年廻りとされています。

九星年盤
平成24年
八方ふさがりの方
(六白金星・男女)



■男・女八方塞りの年まわり表 数え年

Table with 2 columns: 数え年 (Age in reckoning years) and 年齢 (Actual age). Rows include 昭和6年 (82), 昭和15年 (73), 昭和24年 (64), 昭和33年 (55), 昭和42年 (46), 昭和51年 (37), 昭和60年 (28), 平成6年 (19), 平成15年 (10), and 六白金星 (Six White Gold Star).

厄除・八方除の特別祈禱祭のご案内

平成24年厄年を迎える方、八方塞りの方はお祓いをお受けになり、大神様のご加護のもと平穩無事であるく充実した生活をお送り下さい。

【厄年:やくどく】

古来より人生において心身の節目や責務の重き時期で事故、病氣、災難など障害の起きやすい年廻りとされています。

【厄年一覧表(数え年)】

Table with columns for Gender (女性, 男性), Age (大厄, 小厄), and Era (前厄, 本厄, 後厄). It lists specific ages and corresponding years for厄年 (Onamaghi).

【高齢の厄年(数え年)】

産まれた年の干支がもとの干支に戻ることを長寿の祝とした60歳の翌年が通常の厄年の最後であることから、現代では長寿祝を迎えた年(古希70歳・喜寿77歳・傘寿80歳・米寿88歳・卒寿90歳)の翌年が高齢の厄年となります。

男女とも

Table with columns for Age (年齢) and Birth Year (生まれ年). Lists ages 91, 89, 81, 78, 71 and corresponding birth years from 大正11年生 to 昭和17年生.

厄除・八方除の特別祈禱祭は1月7、8、9、14、15日に斎行致します。

崇敬会通信 第2号

去る九月四日(子供祭)穂高神社参集殿において第二回崇敬会総会が開催され、議案すべて満場一致にて可決頂きましたこと、衷心より御礼申し上げます。

また、総会後には琴の演奏者有賀喜栄先生(穂高在住)に心安らぐ音色を御披露頂き、有意義な一時を過ごすことができました。

今後とも穂高神社の発展と会員の充実のため、鋭意取り組んでまいる所存でございます。一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

名誉会員

(順不同)

河西 計介 藤澤 繁雄 田口 公一 中央住設㈱ 金子 昇 (南)二共電子 上高 正喜 若林けんた後援会



浅野 茂 (㈱)エス・シー・コーポレーション 櫻井 豪己 蜜沢 宏 白澤 誠臣 山岸 隆 高柳 伸男 高野 敏雄 青柳 親知 等々力 強 田中 孝 (㈱)カツノ工業建築代表取締役 勝野喜至 蓮見賢一郎

(医) 珠光会 江里口正之 珠光会理事長 蓮見賢一郎 安曇観光タクシー社長 耳塚喜門

法人会員

(順不同)

河西 淳恵 (㈱)中村建築研究所 アサカワ㈱ 小林 銀一 安曇野調理師会会長 豊田修身 (㈱)南安鐵工所 清水屋商店 山田孔政 穂高ビユーホテル(㈱) マルサン三興建設(㈱) (㈱)寺島工務店 平松 静子 サン・フーズ㈱ 税理士法人 上野会計事務所 (㈱)立花代表取締役会長 青柳芳郎 医療法人山田眼科医院 山田みち子 木名瀬 進 H O T A K A 設備 新倉 剛 (株)関 組 (株)元庄屋 安曇野能面塾 柏木裕美

個人会員

(順不同)

(㈱)まほろば観光 (㈱)二見屋代表取締役 水沢仁亮



藤原 晟 中島 正行 南山 享子 百瀬 統一 宮下 定義 吉田 邦子 宇留賀富男 大畑 正一 加納 弘久 大飼 誠男 瀬戸 徹郎 矢澤 義幸 堀内 珠枝 百瀬 定子 山口 幹夫 平野 賢吾 宮本真喜雄 近藤 順子 福岡 秋男 田中 和子 佐藤 良治 井口弥寿彦 河合小奈恵 榎 美穂子 古市昭太郎 萩原 茂一 越智 正康 河合 美奈 務台 俊介 山田 悦子 池田 信秀 百瀬 佳夫 福井 秀樹 中山 友康 大橋 寿朗 加渡 正一 村松 清人 鳥羽 宏行 鳥羽 早苗 岩月 敏行 西村 芳明 平沢 清 飯島 嗣史 石川 勇治 立花 五良 師岡 克彦 川久保正博 谷脇 芳文 筒井 廣明 北原 正次 瀧田 政義

清水 徳貞 平林 和 渡邊 勝 中村 芳弘 小林ふき子 藤森 一孝 藤森 千穂 藤森 望心 徳武 潔 久保 均 小林 誠 石田 喜彦 柳澤 忠 芳川 庸右 馬場 真雄 奥村真理子 吉岡 弘司 森田 優一 片桐 正宏 宮崎 さく 北澤 卓一 黒田 昌康 宮島 正明 加藤 吉郎 高橋 繁 原田 登 下島 政文 猿渡 浩久 堀江 優子 和田 千波 金子真佐志 菅谷 直純 宗像 章 寺島 和豊 菅井 秀利 鈴木 裕一 齋藤 正男 浅井 秀利 酒井 米男 水口 京子 中曾根厚志 川上 實蔵 安藤 智夫 松田 晶弘 川上 實蔵 山口 信雄 藤野 貞子 辻 康久 須坂 文人 田口日出子 青柳 実穂 山下加津子 宇野 志磨 石井 秀雄 林 明 桜井 良治 今村 隆 小岩井節子 百瀬 信也 滝沢 巻男 中矢 卓志 田中好太郎 田中 薫 瓶子 敏夫 松岡 良徳 内藤 芳幸 二木嘉壽子 丸山 賢治 直井 清美 佐々木英之 山口 浩一 平島 弘二 境谷 芳枝 榊原 正史 西澤ヤス子 田中 研 西澤 二郎 小林 宏 井口 喜文 嶋田 隼一 矢ヶ崎和子 下平 洋一 下平 文代 矢口 勝義 重野 充男 等々力良勝 浅川 一美 小川 大至 太田 寛 鳥山 昭一 遠藤 未明 勝山 広男 三原 正憲 関山 信博 清水 信隆 岡田 政広 酒木 順子 丸山 廣貴 小河美紀子 林 順一 中野淳一郎 富岡 詔子 大西 健司 大澤 仁 原 静恵 本郷 健司 林 正浩 腰川 幸夫

長埜	金治	清澤	文子	古田	ゆき
倉内	正和	清住めぐみ	川崎	和廣	
金子	三男	南垣	恵子	高橋	明美
渡邊	安春	降旗	忠雄	藤森	武利
大沢	良子	望月	重俊	小穴千鶴子	
小川	大至	安部	久夫	中島今朝光	
白澤	敏男	宮坂富美子	赤塚	義重	
山崎	勝貞	召田	亨	上條	正行
坂本	孝	胡桃沢	武	小平	哲也
柳沢	今朝利	内川	昭次	平林	明
寺島	公榮	小平	弘起	穂高	光雄
栗山	悦子	島田	博公	山内	義直
耳塚	政子	望月	正澄		

崇敬会入会のご案内

安曇野が誇りとする二十一年に一度御本殿一殿を造り替える式年大遷宮祭と北アルプスのふもと安曇野が心と技を捧げる御船祭は、長い歴史の中で培われた安曇野の文化と信仰を象徴されています。海の恵みと山(陸)の幸を併せ持った御神徳は広大無辺であります。

皆様方には穂高の大神様とより一層深い御神縁を結ばれ生き生きと栄え日々御護り頂きますよう「穂高神社崇敬会」のご案内を申し上げます、一人でも多くの皆様方にご入会頂きますようお願い申し上げます。

会員種別入会金(年会費)

- 一、個人会員 三〇〇〇円
- 一、法人会員 五〇〇〇円
- 一、名誉会員 一〇〇〇〇円

家庭のおまつり

思いやりの心を育む神棚

日本人は古来、家に神棚をまつり、神さまに感謝と祈りを捧げてきました。神棚の前で、たとえば親は毎日の無事を感謝し、子どもの健やかな成長を祈ります。やがて子どもが成人すると、年老いた親の健康を祈るようになります。また、家族に病人がいればまず快復を祈り、治れば感謝を捧げるでしょう。このようにに神さまに感謝と祈りを捧げることで、自分のことより家族を大切に思う思いやりの心が生まれます。そして、その心こそあなたのかい家庭をつくり、神さまのご加護をいただく源となるのです。さあ、皆さんも、お家に神棚をまつってみませんか。

■神棚を設置する

●設置場所を決める

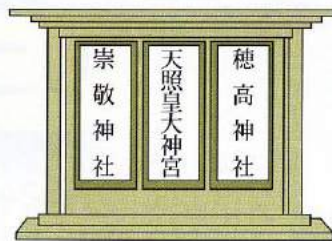
居間や客間など家族の親しめる明るく綺麗な部屋の天井近くに南向きまたは東向きに設置するのが一般的です。

■お神札の順位

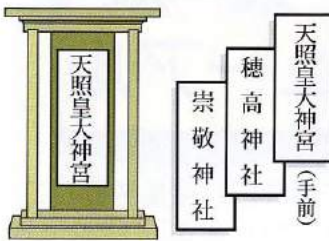
三社づくりの宮形は、中央に神宮大麻(天照皇大神宮)、向かって右に氏神様、向かって左側に崇敬する神社や旅先などで受けたお神札を納めます。

一社づくりの宮形は、手前から順に、お神札を重ねて納めます。

横に並べてまつる場合



重ねてまつる場合

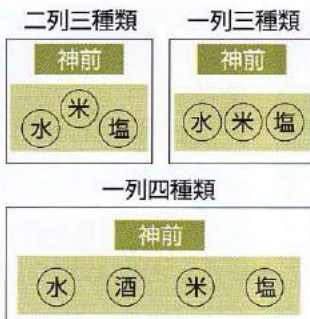


■神棚がない場合のおまつり方

タンスや本棚の上などを整えて綺麗な敷物を敷いておまつりしましょう。宮形が置けない場合は、お神札のみを立てておまつりする方法もあります。大切なのはおまつりする心ですから、出来ることから工夫してみてください。

■神饌(お供え)の供え方

毎朝お供えするのが望ましく、普段はお米、お塩、お水の三品を基本に左図のようにお供えます。初物や季節の食べ物、いただき物なども、まず神様にお供えしましょう。



■二拝二拍手一拝

神社でも、家庭でも、神さまにお参りする際は、二拝二拍手一拝の作法で行います。特に家庭では、毎日欠かさず、家族そろってお参りしたいものです。

各祭典行事

12月31日	大 祓	午後3時
31日	除夜祭	午後11時30分
1月1日	元日祭	午前零時
2月3日	節分祭	午後4時
3月17日	奉射祭	午後3時
23日	秋葉社宵祭	午後8時
24日	秋葉社本祭	午前10時
4月1日	勸学祭	午前11時
4月8日	末社祭	午前10時
17日	巖島社宵祭	午後8時
18日	巖島社本祭	午前10時
19日	穂高霊社宵祭	午後8時
20日	穂高霊社本祭	午前10時
24日	菅原社宵祭	午後8時
25日	菅原社本祭	午前10時

平成24年 年男・福女募集
節分豆まき

来る平成24年2月3日午後4時に行われる節分祭の豆まきに、ご奉仕いただける方を募集いたします。ご希望の方は、神社までお知らせ下さい。

◎参加料・・・5,000円

神楽殿より福豆(景品付き)福銭をまきます。皆様の御参拝をお待ちしております。

神社の豆知識
鳥居とは？

私達が神社にお参りするとき、まず鳥居を目にします。鳥居は神社を表示し、また神社の神聖さを象徴する建造物ともいえます。鳥居は神社の内と外を分ける境に立てられ、鳥居の内は神様がお鎮まりになる御神域として尊ばれます。また、特定の神殿(本殿)を持たず山などの自然体を御神体、また依代(よりしろ)としてお祀りしている神社の中には、その前に鳥居が立てられ、神様の御存在を表すものとして重視されています。

参集殿
リニューアル

平成24年3月1日、参集殿がリニューアルオープンします。壁紙は社紋が入り、床を張り替え、格式高い落ち着いた雰囲気になります。

なお、工事の為平成24年2月4日～2月29日まで休業とさせていただきます。

ご迷惑をお掛けいたしますが、宜しくお願い申し上げます。

3月1日以降のご利用の受付は随時いたしております。どうぞお問い合わせ下さい。

鳥居の起源については、天照大御神が天の岩戸にお隠れになった際に、八百万の神々が鶏を鳴かせましたが、このとき鶏が止まった木を鳥居の起源であるとする説や、外国からの渡来説などがあります。

鳥居は、その材質・構造も多種多様で、それぞれの神社により形態が異なります。一説には六〇数種類の形態があるともいわれており、代表的なものとしては、鳥居上部の横柱が一直線になっている神明鳥居とこの横柱の両端が上向きに反っている明神鳥居があります。

このほか、形態では明神鳥居

の横柱上部に合掌形の破風のつ鳥居とはいいた山王鳥居や、また朱塗りの稲荷鳥居など特徴的なものがあります。

穂高神社の大きい鳥居は明神鳥居と両部鳥居があり、駅通りにある石の明神鳥居は県内で最大級といわれています。

編集後記

今年も残りわずかとなり、また家の大掃除を行うと思いましたが、神棚も忘れず掃除していただき、伊勢の神宮のお神札、穂高神社のお神札を受けて、新たな気持ちで新年を迎えましょう。